

学校教育目標

「夢・希望・自己実現」

豊かな人間性

- ・新たな夢，目標を常に持つ。
- ・自己の可能性を伸ばそうとする気持ち。

健康・体力

- ・規則正しい生活を送る
- ・部活動及び特別活動を通して体力向上及び健康教育の推進

資質・能力の育成

何ができるようになるか (学校教育の基本)

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・進路希望の実現
- ・社会規範の遵守と地域社会への貢献

何が身についたか (学習評価を通じた学習指導の改善)

- 「学びに向かう力」として
- ・学ぶ意義を理解し，将来の目標を持つ
 - ・社会人として必要な基礎学力の定着
 - ・職業に対する知識と心構え

生徒の現状

- ・学習に対して苦手意識を持つ。
- ・素直だが成長途上であり，社会規範を理解できない生徒がいる。
- ・学習や進路に対して目標が設定できない。
- ・他者と協調することが苦手な生徒がいる。

生徒の発達をどのように支援するか (配慮を必要とする生徒への指導)

- ・担任による丁寧な個人面談
- ・年次団，校務分掌等，校内チーム内の意識の共有
- ・SC・SSW・児童相談所等との連携

目指す生徒の姿

- ・自ら考え，目標に向かって一生懸命に取り組める生徒。
- ・知的な好奇心が旺盛な生徒。
- ・自らの意志で選択できる生徒。
- ・他者を思いやり，公共を重んじることができる生徒。

何を学ぶか (教育課程の編成)

- ・小～中学校の復習も含めた全ての土台となる基礎学力
- ・社会に出るための心構えと職業に対する知識
- ・自らの生活習慣を確立させるための手立て
- ・社会規範を身に付けるための思いやりと公共心

どのように学ぶか (教育課程の実施)

- ・学校設定科目「ベーシックトライ」の3年間継続実施。
- ・学校設定科目「キャリアデザイン」を軸にした段階的で多種多様な体験型学習の実施。
- ・生徒の個に応じた選択科目群の設定

実施するために何が必要か (指導体制の充実，家庭・地域との連携)

- ・2人担任制による生徒への個に応じた，きめ細かい支援
- ・保護者との情報と意識の共有 ・SCやSSWへの相談体制の充実
- ・「We are 涸沼っ子！」や「ドイツ国際交流」などでの地域・大学・企業・NPO団体との連携

安心・安全を守る

- ・生徒が安心して過ごせる学級づくり
- ・生徒，保護者と教員の信頼関係の構築
- ・挨拶運動や交通安全，スマホ安全利用等の各種の啓蒙

開かれた学校づくり

- ・保護者あて文書，ホームページ，緊急メール等での情報発信
- ・学校公開やPTA行事等の適切な実施